

2011-B					
拠出金・基金の 名称:		経済協力開発機構・開発援助センター			
種 別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
拠出先の国際機関名: 経済協力開発機構(OECD)					
【所管官庁担当局課・室名】: 外務省国際協力局開発協力企画室					
【当該任意拠出金の目的・用途等】 本拠出金は、開発センターの活動のひとつである「東南アジア経済アウトルック」に対して行うものであるが、本件への支援は、東南アジア経済の開発モデルや今後の東南アジアにおける開発政策立案において、本件アウトルックを我が国として積極的に活用していくことが可能となる。当該アウトルックは当該地域の開発促進に対するOECDの強固なコミットメントを反映するツールであり、新しい成長手段の発掘、国内資源の有効な活用、強固な政治体制の構築に焦点を当てた、より広範な開発政策を計画するものである。					
最近3年間の我が国支払額及びODA率					
単 位	邦 貨 (千 円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レ ー ト	ODA率(%)
平成23年度	6,738	56	-	1ユーロ = 120円	100%
平成22年度	8,428	63	-	1ユーロ = 134円	100%
平成21年度	8,994	63	-	1ユーロ = 143円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 開発センターは、途上国の経済及び開発に関する調査研究、開発問題に関するOECD及び加盟国の知見をOECD非加盟の開発途上国に普及させる活動、有効な援助の実施に必要な情報をOECD加盟国に提供する活動等を実施。同機関はその調査研究プロセスにおいて、OECD非加盟の新興国との関係構築を重視しており、近年はこうした国を中心に加盟国が増加している。また、先進国でも近年の活動を評価し、加盟を検討する動きが見られる。こうした状況により、今後同機関が途上国開発の議論に与える影響は今後いっそう増すことが期待される。 我が国は加盟していないものの、「東南アジア経済アウトルック」刊行に向けた調査研究活動に拠出して					